

学校教育目標	○よく考える子(知) ○心ゆたかな子(情) ○元気な子(意)(体)	【目指す学校像】	○「子供の成長」を教育活動の中核に置き、連携・協働する学校 ○「チーム」一丸で教育活動を推進する学校
		【目指す児童・生徒像】	○自らの人生(運命)を自らの力で切り拓き、これからの社会の創造を担える児童～グローバルに考え、ローカルに実践する子～
		【目指す教師像】	○「チーム拜二」の一員として、自らすすんで学び、高め合い、協働して職務を遂行する教師 ○子供のよさや可能性を伸ばせる教師集団

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	(知) 自ら学び考え判断し、協働して問題を解決することができる児童の育成	日々の授業を充実させ、全国学力・学習状況調査の平均正答率の引き上げを図る。	「拝二小授業力スタンダード20ver.4」を基に、児童が自身の学びの成果を実感できるように指導する。	4 8割以上の教職員が、「授業力スタンダード」に基づく指導を行った。	評価	4 学力調査の平均正答率が国比OP	評価					
			3 7割以上の教職員が、「授業力スタンダード」に基づく指導を行った。	3 学力調査の平均正答率が国比-1P								
			2 6割以上の教職員が、「授業力スタンダード」に基づく指導を行った。	2 学力調査の平均正答率が国比-2P								
		言葉の力で獲得した知識を生かして自分の思いを論理的に表現できる児童を育成する。	指導計画のPDCAサイクル化を図り、児童が考えを深め、表現する場を意図的・計画的に設定する。	4 8割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。	評価	4 「思考・判断・表現」の評価B以上70%以上	評価					
			3 7割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。	3 「思考・判断・表現」の評価B以上60%以上								
			2 6割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。	2 「思考・判断・表現」の評価B以上50%以上								
		学んだことを日常生活に生かしたり、自分の周りの社会に役立てたりしようとする児童を育成する。	昭島市民科、各教科、特別活動、「特別の教科 道徳」を中心に、教育活動全体を通して児童がセルフモニタリング及びセルフコントロールする場を設定する。	4 8割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	評価	4 授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童70%以上	評価					
			3 7割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	3 授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	2 授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童50%以上								
豊かな心	(情) 自らの良さを見つめ、他者を尊重し、共により良く生きようとする児童の育成	不登校児童を減らし、全ての児童が安心して登校できる学校にする。	①不登校アセスメントの実施 ②のびのびルームの効果的な活用③温かい学級づくりによる不登校の未然防止	4 8割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	評価	4 不登校の出現回数2割減少	評価					
			3 7割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	3 不登校の出現回数1割減少								
			2 6割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	2 不登校の出現回数増減なし								
		学校生活を自ら創り上げる児童を育成する。	「拝二小学級力スタンダードver.2」を基に、児童自らが学校生活を築けるように指導する。児童会選挙の実施。	4 8割以上の教職員が、「学級力スタンダード」に基づく指導を行った。	評価	4 自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童70%以上	評価					
			3 7割以上の教職員が、「学級力スタンダード」に基づく指導を行った。	3 自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、「学級力スタンダード」に基づく指導を行った。	2 自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童50%以上								
		学校の決まりを守る風土を創り上げる。	学校の決まりの意味・意義を理解させ、守らせる。	4 8割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	評価	4 学校のきまりを守っていると感じる児童70%以上	評価					
			3 7割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	3 学校のきまりを守っていると感じる児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	2 学校のきまりを守っていると感じる児童50%以上								
健やかな体	(体) 自らすすんで心と体をきたえ、たくましく生きる児童の育成	日々の授業の充実を基に、体育の授業が好きな児童を増やす。	「拝二小授業力スタンダード体育編ver.2」を共通実践し、体育科の授業の充実を図る。コオアディネーショントレーニングの実施。	4 8割以上の教職員が、「授業力スタンダード体育編」に基づく指導を行った。	評価	4 運動が好きになったと感じる児童70%以上	評価					
			3 7割以上の教職員が、「授業力スタンダード体育編」に基づく指導を行った。	3 運動が好きになったと感じる児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、「授業力スタンダード体育編」に基づく指導を行った。	2 運動が好きになったと感じる児童50%以上								
		児童の課題に応じた様々な運動に親しませる場を設定し、運動能力の向上を図る。	体力調査(プレ・ポストテスト)の結果に基づく課題分析・解決策の共通理解と共通実践をする。体力向上旬間を設定する。	4 8割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	評価	4 Tスコアを都平均以上にする。	評価					
			3 7割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	3 Tスコアを都平均より-1%にとどめる。								
			2 6割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	2 Tスコアを都平均より-2%にとどめる。								
		家庭と連携して、児童の基本的な生活習慣の向上を目指す。	「元気アップガイドブック」を計画的に活用し、児童自身が生活改善の大切さを意識し実感できるようにする。	4 8割以上の児童が、「元気アップガイドブック」を計画的に活用した。	評価	4 生活改善を実感する児童70%以上	評価					
			3 7割以上の児童が、「元気アップガイドブック」を計画的に活用した。	3 生活改善を実感する児童60%以上								
			2 6割以上の児童が、「元気アップガイドブック」を計画的に活用した。	2 生活改善を実感する児童50%以上								
輝く未来	(意) 自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げることができる児童の育成	昭島市民科や各教科等の充実を図り、地域を担う市民としての愛着を育てる。	地域に根差した昭島市民科や各教科等の授業を展開する。	4 8割以上の教職員が、市民科の授業実践に取り組んだ。	評価	4 地域に愛着をもつ児童70%以上	評価					
			3 7割以上の教職員が、市民科の授業実践に取り組んだ。	3 地域に愛着をもつ児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、市民科の授業実践に取り組んだ。	2 地域に愛着をもつ児童50%以上								
		●SDGsの達成のために社会を変革する主体者として、家庭生活から変えていこうとする態度を育てる。 ●地域人材を活用し、人との関わりの中で学ぶ機会を充実させる。	●SDGsの達成のために、家庭生活を実際に改善しようとする行動に移すことができる児童を育成する。 ●地域人材を活用した体験活動を実施し、社会貢献しようとする児童を育成する。	4 8割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	評価	4 社会貢献しようとする児童70%以上	評価					
			3 7割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	3 社会貢献しようとする児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	2 社会貢献しようとする児童50%以上								
		社会の多様な課題への関心・意欲を高め、自らの将来について考える児童を育成する。	昭島版「キャリアアルバム」を活用して、児童が自らの将来に、夢をもてるように指導する。	4 8割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	評価	4 将来への夢や希望がもてたと実感できる児童70%以上	評価					
			3 7割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	3 将来への夢や希望がもてたと実感できる児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	2 将来への夢や希望がもてたと実感できる児童50%以上								
				1 6割未満の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。		1 将来への夢や希望がもてたと実感できる児童50%未満						